

## 地域医療連携室だより

### 新年のご挨拶

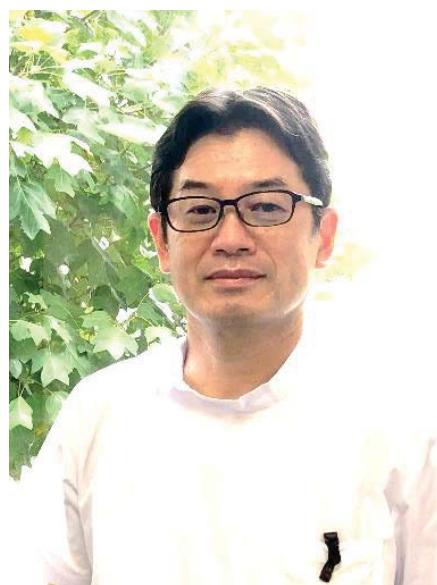
病院長 山口誓司

新年おめでとうございます。

昨年はまさに未曾有の疫病である新型コロナウイルス感染症に振り回された1年間でした。

この感染症との戦いは、まだ終わりが見えないところですが、政府主導のワクチン接種については具体的に計画が進みつつあり、最初に医療者への接種が優先的に始まることになっています。少し先に光明が見えつつあるところでしょうか。

できるだけ多くの方に接種して頂き、集団免疫を獲得して新型コロナウイルス感染症の一日でも早い収束を祈っております。



さて、このコロナ禍で世の中の多くの変革が起こっていますが、当センターも例外ではなく、変革が求められています。

当センターの将来像としましては、総合医療センターとしての機能をもって地域の基幹病院としての役割を果たすということになります。

従来からの呼吸器、アレルギー疾患の拠点病院としての機能は今でも重要な柱であり、今後も当センターの中心的な機能ではありますが、地域の基幹病院としての機能を整えなければならないと考えています。

現在、今年度中の地域医療支援病院の承認に向けて、関係各所、各部門にいろいろ御支援をお願いしております。南河内地区の各医師会の先生方をはじめとし、各薬剤師会、各歯科医師会、各消防組合、各警察署、各市役所の関係各所の皆様で構成する地域医療支援病院運営委員会におきましても、ご意見を頂戴して地域医療へ少しでも貢献していきたいと思っております。

2023年春に開院予定の新病院は2月5日に起工式を予定しており、2022年度中の竣工予定です。そこへ向かって診療科の充実を進め、なお一層の病診連携、病病連携を進めて行く予定です。今年も宜しくお願い申し上げます。

## 第4回 はびきのチャンネル

【2月の予定】

2月18日（木）14:00～15:00

呼吸器外科 門田 嘉久 先生

### 「肺がんの外科治療について」



Web 会議システム「Webex Meetings」を利用して開催いたします。パソコンやスマートフォンで聴講が可能ですので、お気軽にご参加お願いいたします。

なお、この講習は府医師会生涯研修の登録申請を行っております。

※参加を希望される方は、医療機関名とご芳名および希望される開催日を記載の上

アドレス：[habikino\\_channel@ra.opho.jp](mailto:habikino_channel@ra.opho.jp) または

右 QR コードへ送信してください。



〈メールアドレス〉

\*当センターより、「Webex ミーティング招待状」メールおよび

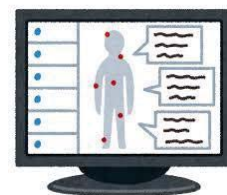
「Webex Meetings」の利用方法について返信させていただきます。

## 地域医療連携室からのお願い

今年も、地域医療連携室では地域の医療機関様へ向けて、下記の取り組みを行っております。

### ◆地域診療情報連携システム「はびきのメディカルネット」

現在、20 医療機関より登録申し込みをいただき、12 医療機関でシステム導入いただいております。登録患者様は 50 名を超え、当センターでの検査・治療内容を即日に閲覧できることで、医療機関での診療や訪問診療などに活用しているというお声をいただいております。お申し込みやシステム説明のご希望など、引き続き受け付けております。申し込み用紙を同封させていただきますので、ご連絡お待ちしております。



### ◆登録医申請およびメールアドレス登録のお願い

地域連携室では、研修会や勉強会はもとより、病診連携の向上めざして様々な情報の発信を、地域医療連携室だよりで行っております。今後より一層、タイムリーな情報を発信できるよう、またリモート勉強会の動画配信などを考え、メールアドレスの登録をお願いしたいと存じます。メール配信をさせていただける医療機関の先生方には、下記アドレスにご返信いただきますようよろしくお願いいたします。

また、登録医様限定でのご案内や動画配信なども行いますので、登録医申請をどうぞよろしくお願いいたします。（登録医申請書を同封させていただきます）

送信先：[habikino-chiiki@ra.opho.jp](mailto:habikino-chiiki@ra.opho.jp)

〈メールアドレス QR コード〉



## 産婦人科 vol.2

### 当センターの無痛分娩について

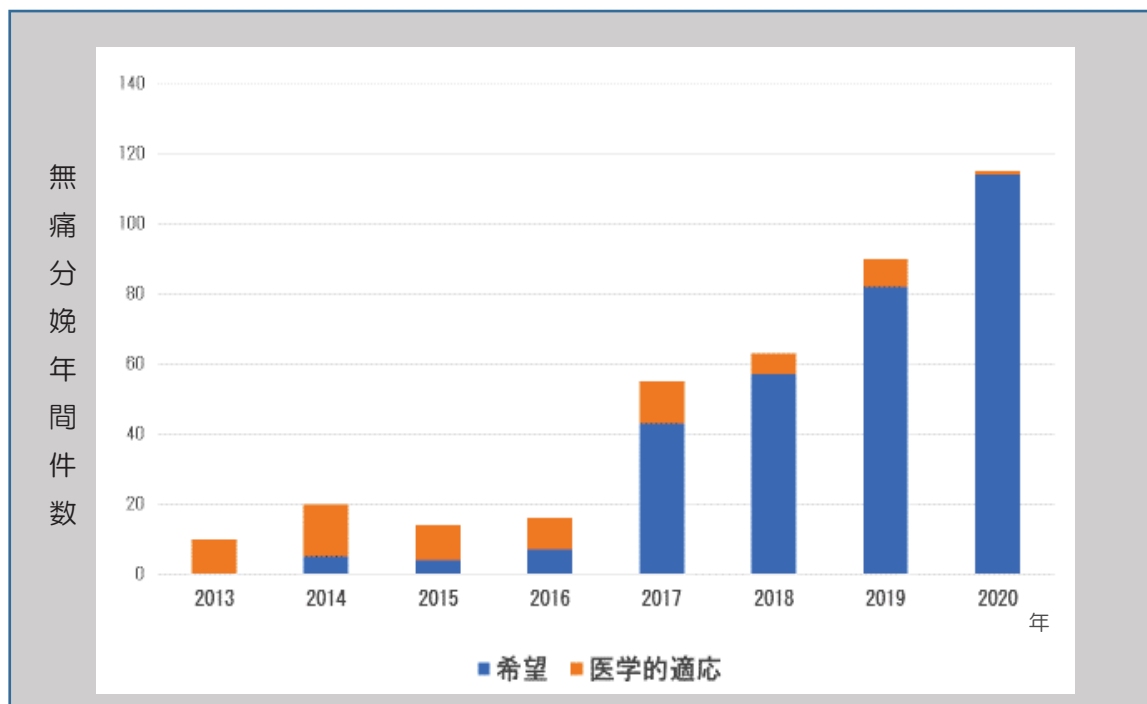
当センターでは、分娩予定日前（初産婦は39週、経産婦は38週）に計画的に入院後、硬膜外麻酔を用いたPCEA(Patient controlled epidural analgesia)による無痛分娩を実施しております。

PCEAとは、PCAスマートポンプを用い、産婦さんが痛みを感じたら自身でボタンを押してもらうと一定の局所麻酔薬が投与され、陣痛の痛みが緩和される麻酔方法です。



2013年から妊娠高血圧症候群などの医学的適応症例から開始し、2017年4月に無痛希望をホームページに掲載してから、年々無痛分娩件数は増加傾向で、2020年は115件（全分娩の12.9%）でした（グラフ参照）。

一方で、事故がないよう、日本産科麻酔科学会やJ-cimels主催の医療安全講習を受講し、安全に無痛分娩が実施できる体制を築いております。ご希望の産婦さんがおられましたら、是非ご紹介ください。



# アレルギー内科 vol.1

## 吸入指導にぜひお役立てください！

### ◆ 喘息の診療における最近の重要な出来事

昨今、喘息の増悪危険因子として、ガイドラインでも治療薬の不適切な使用、アドヒアランス不良が重要であると記載されています。令和2年度診療報酬改定からは、喘息の診療において、薬局における対人業務の評価の一つとして、吸入薬指導加算が認められるようになりました。

これは、喘息あるいは慢性閉塞性肺疾患の患者さんに対して、文書及び練習用吸入器を用いた実技指導を行い、その指導内容を医療機関に提供した場合について新たな評価を行うものです。このように保険診療においても吸入指導の重要性が認識されています。



### ◆ 当院における吸入薬指導の実際

以前から私たちは、地域の医療機関の医師、看護師、薬剤師の先生方が、適切に喘息の吸入薬を指導できるように、年に2回、吸入指導者の育成のために講習会（大阪アズマネットワーク）を開催してきました。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、この会を開くことができず、とても残念です。一方で、私たちはインターネットを通して吸入指導法を学ぶことができるように、吸入指導者向けの動画を公開しております。講習会のように、デバイスを使った練習はできませんが、吸入指導法の習得に大切なポイントを動画で見ることができます。

動画は、大阪はびきの医療センターのアレルギー内科のホームページ

<http://www.ra.opho.jp/medical/55/67.php>

からアクセスし、下記画面から視聴できますのでぜひご利用ください。



### 吸入指導について



患者様向け動画

詳細はこちら



指導者向け動画

詳細はこちら



次回は引き続きアレルギー内科 (vol.2)、新たに消化器外科を掲載させていただく予定です。

大阪はびきの医療センター 地域医療連携室

直通：072-957-8030 代表：072-957-2121

FAX：072-957-8051

地域連携室室長：川島 佳代子

マネージャー：秦 順子